



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第14号

平成17年 4月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



▲春の北信五岳

新長野市幕開けの年
長野市民病院も満十年を迎える



長野市保健医療公社
理事長 鷺澤 正一

民病院も、この六月には早満10年を迎えることとなりました。この間、急性期医療・高度医療の提供を重点に他の医療機関との機能分担と連携を図りながら、適切な地域医療の確保に努めてまいりました。これまで地域の中核病院として良質、安全な医療を提供してこれましたのも、ひとえにボランティアや医師会をはじめ多くの皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

現在、わが国の医療は診療報酬の包括化や医療安全対策など大きな変革期にあります。当院では、慢性的な満床状態を解消し救急医療の充実を図るため、一〇〇床の増床による新病棟建設や老朽医療機器の更新、種々の業務改善など重要な取り組みを進めております。

節目の年となります本年度は救急医療など医療提供体制の一層の充実を図りますとともに、医療人としての初心にかえり、これまで培いました英知を集結し、市民の皆様の期待に応えてまいります。

個人情報保護法

4月1日から全面施行

（医療ガラス張りの時代へ）

長野市民病院では、患者さまの権利と意思を尊重し、情報の開示や説明と同意を基本とする医療の提供に努めておりますが、これに必要な患者さまのお名前などの基本的な情報や、各種診療情報を適切に管理することが極めて重要と認識し次の保護方針を定め、確実な実行および継続的な改善を行います。

1. 個人情報の収集について

患者さまの個人情報を収集する場合、診療・看護にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合、利用目的を予めお知らせし、ご理解を得た上で実施します。ウェブサイトでも個人情報を必要とする場合も同様です。

2. 個人情報の利用および提供について

患者さまの個人情報の利用につきましては、次の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用

- したり、患者さまの許可なく、その情報を第三者に提供しません。
- (1) 患者さまの了解を得た場合
 - (2) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
 - (3) 法令等により提供を要求された場合



3. 個人情報の適正管理について

患者さまの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、情報

漏えい、紛失、破壊、改ざん又は不正なアクセスを防止することに努めます。

4. 個人情報の確認・修正等について

患者さまの個人情報について、患者さま本人から開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し当院の「診療情報開示要綱」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合、調査し適切に対応します。

5. 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

個人情報の保護に関する法令、その他の規範を遵守するとともに、各項目の見直しを適宜行ない、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります

〈問合せ窓口〉個人情報の取扱いに関するご質問やお問い合わせは、「診療情報管理室」でお受けします。

当院でも職員研修会開催

二月二十二日（火）、株損保ジャパン・リスクマネジメントより講師を招き、「個人情報保護法とその対応策」と題して病院職員を対象とした研修会を開催いたしました。

研修内容としては、個人情報保護法の位置づけや概要、医療分野における個人情報保護対策の主なポイントについての講演内容でありました。

医療機関としては極めて重要な法律の施行とあって、職員の関心が強く、当日は大勢の職員の参加がありました。



▲研修会講師

医療訴訟と鑑定について

長野地裁・三輪裁判官が講演

長野市民病院教育研修委員会と長野地方裁判所の共催による『医療訴訟と鑑定について』の講演会が一月二十六日(水)、会議室で開催され、百十八名の職員が参加しました。

全国的に医療訴訟の件数が増加傾向にあるなかで、専門的な学識、経験を必要とする医療や建築にかかわる裁判は、どうしても長期化してまいります。

そういった裁判官の専門的な知識を補充するために、鑑定人を裁判所が専任し裁判に関してもらう制度があります。しかし、医師は多忙で早く鑑定人を引き受けたがらない傾向があります。

裁判所では、平成十五年の民事訴訟法等の改正により、こうした問題に対処するために鑑定手続きの改善が図られました。

長野地方裁判所では、新しい取り組みとして長野市民病院を始めとする県内四病院をメンバーとする医療訴訟連絡協議会を設立し、病院関係者の理解と啓発を深めていく方針です。

その手始めとして今回、長野地方

裁判所裁判官・三輪睦氏を招いて『医療訴訟と鑑定について』と題した講演会を開催したところ、医師、看護師、薬剤師、診療技術職員、事務職員など百十八名が参加し、関心



▲三輪裁判官

の高さを示しました。

特に医療に関する最高裁判所判例の紹介では、医師等から多くの質問が出され有意義な講演会となりました。講演後、参加者からは次のような感想が寄せられました。(一部)
・とてもおもしろかった。(医師)

- ・続編をやって欲しい。(医師)
- ・大変有意義でした。(医師)
- ・難しかった。判例を中心に聞きたかった(看護部)
- ・聞くことのチャンスの少ない内容でよかった(看護部)
- ・疑問に思っていた用語の意味がわかりよかった。(事務部)
- ・裁判所に関する知識が深められた。今後も同様の研修を。(診療技術部)

当院を会場に 長野市の総合防災訓練実施

春の火災予防運動期間に、長野市消防署、近隣の消防団等が参加して行われる、長野市の総合防災訓練演習が、当院を会場に三月一日(火)に実施されました。

今回は院内の防災訓練もかねておりましたが、本番さながらはしご車を使用した救助訓練や放水等も行われました。

昨今、新潟中部地震等を始めとする災害が日本のみに留まらず世界各国で頻繁に起こり、防災に対する意識が高まる中、消防署、消防団はもとより、病院職員も防災に対す

る訓練の重要性を考えさせられ、大変良い経験になりました。



▲放水訓練



▲はしご車を使用した救助訓練



舌痛症

舌の痛みの原因は多様ですが、特有の所見を見逃さなければ効果的な治療を行うことが出来ます。

歯科・歯科口腔外科統轄科長 田村 稔

【口腔乾燥症や口腔カンジダ症】

粘膜は乾燥すると口腔常在菌のカンジダが増殖し、炎症を起こし痛みます。舌に溝のある場合は食渣が溜まりカンジダも増殖しやすいので、一日一回の舌背ブラッシングを行ってカンジダを減らすことが大切です。樹脂（レジン）製の義歯を使用の方では、レジンにはカンジダが増殖しやすいので念入りの清掃が必要です。寝たきり者で口呼吸されている場合は、保湿剤ゲルの塗布で乾燥を防ぎます。また降圧剤・利尿剤・制酸剤・鎮痛消炎剤・抗ヒスタミン

【舌炎・口内炎】ビタミンB₁₂や鉄の欠乏では、貧血と特有の舌炎が発生します。細菌やウイルス感染、ベーチェット病等でも舌や口内に痛みや潰瘍を生じます。

剤・抗不安剤・抗てんかん剤などの薬の副作用でも口腔乾燥を起すことがあります。

【舌の特定部位への機械的刺激】歯牙による擦過や咬傷、歯磨きのクセ、舌習癖によって舌の同じ場所が刺激され知覚過敏になったり、びらんや痛みが出ると考えられます。咬合が深く舌の収容空間が少ないと、舌の縁が歯列内側に押しつけられて圧痕が認められるほどになり痛みを生じます。

【舌痛症】上記のような他覚的所見がない舌痛で、ストレスの関与や自律神経障害や精神的要素との関連も疑われています。

が、原因は不明とされます。舌痛症の中には亜鉛不足による味覚障害や痛み、脳梗塞・脳出血などに関連した中枢神経系障害による神経痛、仮面うつ病などの身体症状の一つとしての痛みもあり注意を要します。

亜鉛は海草類のほかコレステロールを多く含む食品（卵の黄身、レバーなど）にも含まれており、これらの摂取を控えている人や高血圧などで服薬中の人も、不足することが知られています。

みなさまの 声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見・要望をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

ラ

ウンジを使用する人の一部だと思いますが、売店他、持ち込んだの食事やお茶の後のゴミの分別が全然出来ていない。悪い例としては、レジ袋へ空き瓶空き缶は言うに及ばず、菓子袋、カップ麺、弁当の食べ残し等を一緒に袋詰めにして、ラウンジのジュース、お茶の白販機の横とか空き缶空き瓶の分別容器の脇へ置き去りにしたり。移動した椅子や机をそのままにして帰る不心得者がこの頃多々見かけられる。

（入院患者・男性）

◆回答

ご指摘ありがとうございます。公

共の場合は、どのような利用をすればいいのかについて、利用される方々にもモラルを守っていただけるよう努めたいと思います。一方で休み明け一番には、ゴミの片付けを委託しており、また職員も日々、ゴミの状況には気を付けて対応してまいります。

名

前を呼ぶとき、子どもに対して○○さまと呼ぶのはおかしいです。また不自然です。○○ちゃん。○○くんではないではないでしょうか。子供なのでから。

（男性患者のご家族・女性）

◆回答

貴重なご意見ありがとうございます。現在、当院では、年齢に関係なく「さま」でお呼びすることを基本としております。診察室では、そのお子さまに応じて「ちゃん」「くん」と呼ばせていただくこともあるかと存じますのでご了承願います。

い

つもお世話になっております。月に2〜3回母の付添で来ておりますが受付の受け答えがよくないので一言書かせていただきます。診察券を「お願いします」と渡しても無言、帰りに「ありがとうございます」と言っても無言。「お待ちください」とか「お大事に」とか言えないものでしょうか。何か聞いて

当院のICT（感染対策チーム）

の活動について



新型インフルエンザの流行、老人施設でのノロウイルス集団発生など、感染に関する報道が絶えない昨今、ICT（Infection Control Team）：感染対策チームという単語を耳にされた方もいらっしゃると思います。

長野市民病院では病院長を委員長とする感染対策委員会が設置され、月例の会議では感染対策に関わる様々なことが審議されています。そして、この委員会での決定事項を現場で機動的に実行するのが私たちICTの役割です。メンバーは、医師2名、薬剤師1名、看護師4名、臨床検査技師1名、事務員1名と職種を超えた計9名で構成され、月2回の会議と、日々の感染対策活動を行っています。メンバー全員が兼任のため忙しい毎日ですが、感染予防のための職員への教育活動、感染対策マニュアルの作成、院内での感染症発生の監視など、患者さまに安全な医療を提供するための活動をしています。より良い病院づくりのため今後も精力的な活動を続けていきたいと思っています。

職員短信

六日町温泉で 雪見酒に 浸る旅

職員旅行に参加して

栄養科 美谷島 司



二月十二日・十三日に行われた互助会主催の職員旅行に参加させていただきました。

今回は、「雪中梅・吉乃川・八海山を味わい六日町温泉で雪見酒に浸る旅」というタイトルが示すとおり、新潟の銘酒と雪景色を楽しむ旅となりました。豪雪地帯への旅行ということ

で、どこも雪が多いかと思っていたのですが、地域によりかなりの差があり、冬の景色と春の気配の両方を

楽しむことができました。もちろんお酒も十分に楽しみました。長岡を経由し、震災のあった小千谷では、除雪した雪が道路脇に、また屋根の雪が軒下にと2m以上にも積まれており、地震、豪雪と厳しい自然環境の中で生きて行く人たちの苦労と逞しさを感じました。

宿は総平屋造りで江戸時代後半の豪農、豪商の屋敷を移築した迫力のある建物で、このような宿に泊まることに感謝しました。

二日目は群馬県に移動し、天候にも恵まれ、早春と呼ぶにふさわしい上州路を散策しました。

今回の旅行では、楽しい仲間、美味しい酒・料理、冬から春への季節の移ろい等を堪能することが出来、大変有意義な旅行でした。企画してくださった方、互助会の役員の皆様に感謝を申し上げます。

もただ「できません」とか返事なしとか。前任の方はとても感じがよく行き届いた対応だったのですが。

（外来患者・女性）

◆回答

不快な対応がありましたことを深くお詫び申し上げます。「受付は病院の顔」と言われている中で、平日頃より、心のこもった接遇や対応について教育や指導を行っておりましたが、個別指導も含めて今後も徹底してまいります。

人

間ドック受付（2階）でお世話になりました。親切・丁寧に説明していただいたり、受診者の立場になって対応していただきました。ありがとうございました。

院

内図書室をつくってください。ラウンジの片隅でもいいですが、そこで読めたり、部屋に貸し出して読めたりできると嬉しいですね。ちよつと動けるようになると長い長い1日となってしまうので。

（入院患者・女性）

◆回答

ご意見ありがとうございます。平成十九年の増築時には、1階に患者さま専用の図書、情報サービスコーナー、新聞の他、インターネットの利用等もできるサービスを検討しておりますのでご理解をお願いいたします。

医療法人

鈴木泌尿器科

院長 鈴木都美雄
(長野市大字鶴賀34-1)

鈴木院長は、父が医師だった影響もあり、医師の道を志しました。昭和50年に大学の医学部を卒業後、昭和56年まで岩手県、青森県などの東北地方の病院に勤務されました。その後長野に戻られ、昭和56年～63年まで長野赤十字病院に勤務の後、現地に開業し17年になります。(外来は完全予約制)

現在では、外来患者のほか入院患者(透析患者含む)も受け入れています。職員数も多く、毎週土曜日には信州大学から派遣の医師が診療をしています。院長の人柄は温厚で、院内は和やかな雰囲気です。

なお、日頃長野市民病院とも病診連携において良い関係で保たれており、また、長野赤十字病院に勤務時代に一緒に働いていた看護師も長野市民病院には数名在籍しているため親しみを感じており、病診連携等も今後とも大切にしていきたいと話しておられました。

また、院長の趣味はテニスで、毎週土曜日には3～4時間プレイするというぐらい現在テニスが生きがいになっておられ、ストレス解消、体力作り、そして何よりも心の安らぎになっているそうです。

医師になって良かったことは、地域の患者さんに頼りにされること。患者さまから感謝されることが医師冥利に尽きるそうです。そのため、職員から「院長は仕事が趣味」と言われるほど、仕事に没頭することもあるそうです。



登録医制度による地域医療連携システムが昨年五月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
現在の登録医は、医科二百四名、歯科九十八名です。この欄では、順次登録医の医師を紹介してまいります。

登

録

医

紹

介

No. 2



▲総会風景。

平成16年度 総会開催される

病院ボランティア
はづきの会

去る三月二十六日(土)に、平成十六年度はづきの会総会が開催されました。「はづきの会」は、長野市民病院のボランティア組織で、現在百人以上の方が活動されています。総会には、飯島看護部長(当時)も来賓と

して参加し、祝辞を述べました。総会では、十六年度の事業報告、十七年度の活動計画などが承認されました。総会終了後、長野市民病院の美容島管理栄養士より「健康に過ごすための食生活」と題した講演が行われました。日本では、「飢餓の時代」や「欠乏の時代」が長かったため、栄養を溜め込む体質になっていること、そのために、いかに栄養摂取と消費のバランスを保つかということなどについて話を聞きました。ボランティアの皆さまにとって関心の高い分野だったこともあり、講演後には質問が相次ぎました。



▲総会風景。

第一回長野市民病院市民健康講座

若里市民文化ホールにて開催

去る一月十五日（土）若里市民文化ホールにて、第一回長野市民病院市民健康講座が開催されました。

当日は、あいにくの天候にも拘わらず、二〇四名もの市民の方に参加をいただきました。

健康講座の内容は、正午から医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカーによる健康相談、血圧・体脂肪測定、健康に関するパネル展示が行われ、続いて午後一時三十分より講演会が行われました。

健康相談には、五十一名の方が相談に見えられ、また、血圧・体脂肪測定も百名を超す方が測定されました。

講演会は、当院の医師のほか外部講師をお招きし行われました。まず、「最近の前立腺がんの診断と治療」と題して当院の泌尿器科岡根根谷利一統轄科長より講演があり、次に「健康食品は本当に健康に良いか」と題して健康食品管理士認定協会理事長で、藤田保健衛生大学教授の長村洋一先生より講演がありました。両講演とも非常にわかりやすく大変好評でありました。



健康講座

来場者の方の声

（健康相談）

○普段なかなか聞けないことが聞けて良かった。

○多くの診療科の先生に相談にのってもらいたかった。

○不安が解消され、大変良い相談の機会になった。

（講演会について）

○健康食品について勉強になった。

○実例をあげていただき、わかりやすかった。

○知っているようで知らないことが多く参考になった。

全体的に参考になり、今後も開催してほしいという意見が多かったです。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1

TEL 026-295-1199

FAX 026-295-1148

ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

本誌のバックナンバー
は、ホームページでも
ご覧いただけます。

外来診療担当日一覧

長野市民病院

	月	火	水	木	金	備 考	専 門
内 科 (消化器科) (循環器科) (呼吸器科) (神経内科)	○岡本 尚子 ○吉池 文明 ○今井 康晴 ○立岩 伸之 花岡 健 武田龍太郎	山本 寛二 吉池 文明 ○吾妻 俊彦 今井 康晴 ○丸山 隆久 ○岡本 尚子 掛川 哲司	○吾妻 俊彦 長田 敦夫 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○花岡 健 掛川 哲司	山本 寛二 吉池 文明 吾妻 俊彦 ○立岩 伸之 丸山 隆久 — ○掛川 哲司	○山本 寛二 — ○平井 一也 今井 康晴 長谷部 修 花岡 健 ○武田龍太郎	○印は初診担当です	長田 敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井 康晴 (呼吸器) 今井 康晴 (消化器・肝臓) 長谷部 隆久 (消化器・内視鏡) 丸山 隆久 (循環器) 山本 花岡 (神経内科) 掛川 哲司 (腎臓) 吉池 伸之 (呼吸器) 立岩 健 (消化器・内視鏡) 武田龍太郎 (消化器) 吾妻 俊彦 (呼吸器) 岡本 尚子 (内科)
小 児 科 午後 専門外来 (予約制)	○青沼架佐賜 田村 秋穂 信大医師	田村 秋穂 青沼架佐賜	青沼架佐賜 田村 秋穂	田村 秋穂 ○青沼架佐賜	青沼架佐賜 田村 秋穂	○印はカウンセリング (要予約)です。 午前10時以降	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症) 田村 秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
外 科 (呼吸器外科)	渡邊 隆之 宗像 康博 砥石 政幸	宮川 雄輔 関 仁誌 西村 秀紀	酒井 宏司 宗像 康博 砥石 政幸	— 宮川 雄輔 西村 秀紀	酒井 宏司 関 仁誌 —		宗像 康博 (消化器・胃大腸) 西村 関 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 雄輔 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 砥石 雄輔 (肝胆脾) 酒井 政幸 (呼吸器) 渡邊 宏司 (外科) 隆之 (外科)
整 形 外 科	— 南澤 育雄 木下 久敏 ○向山啓二郎 ○松田 智	松田 智 竹山 和昭 向山啓二郎 ○信大医師 ○南澤 育雄	— 向山啓二郎 木下 久敏 ○竹山 和昭 ○南澤 育雄	松田 智 竹山 和昭 — — ○木下 久敏	— 南澤 育雄 — ○信大医師 ○竹山 和昭	○印は初診担当です	南澤 育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節症) 木下 久敏 (脊椎・脊髄) 松田 智 (上肢・末梢神経) 竹山 和昭 (脊椎・関節疾患) 向山啓二郎 (整形外科一般)
形 成 外 科	○滝 建志 三島 吉登	○信大医師 三島 吉登	○滝 建志 三島 吉登	○三島 吉登 滝 建志	○滝 建志 三島 吉登	○印は初診担当です	
脳神経外科	徳重 一雄 ○市川 陽三	竹前 紀樹 ○市川 陽三	○竹前 紀樹 —	竹前 紀樹 ○徳重 一雄	○徳重 一雄 —	○印は初診担当です 水曜頭痛外来(初診)	竹前 紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重 一雄 (脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 市川 陽三 (脳神経外科一般)
皮 膚 科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實		
泌 尿 器 科	岡根谷利一 △西澤 秀治	西澤 秀治 皆川 倫範	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 信大医師	岡根谷利一 皆川 倫範	△印の診察は午前10 時30分からです。	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤 秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 皆川 倫範 (尿路結石・前立腺肥大)
婦 人 科 午後 専門外来 (予約制)	森 篤 ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	○印は初診担当です	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科一般)
眼 科	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —		風間 淳 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	—	野村 康	野村 康		
放 射 線 科	—	橋田 巖	—	橋田 巖	橋田 巖		橋田 巖 (放射線治療) 今井 巖 (画像診断)
歯 科・ 歯科口腔外科	宮原 貴彦 田村 稔	田村 稔 宮原 貴彦	宮原 貴彦 田村 稔	信大医師 信大医師	田村 稔 宮原 貴彦	初診・午後外来手術 再診	田村 稔 (口腔腫瘍) 宮原 貴彦 (口腔外科一般)

医師人事異動

退職・三月三十一日付

麻酔科科長 鬼頭 剛

(信州大学医学部へ)

麻酔科科長 早藤 昌樹

(国立病院機構松本病院へ)

循環器科科長 平林 直章

(県立須坂病院へ)

歯科・歯科口腔外科 藤森 林

(信州大学医学部へ)

呼吸器科医師 山崎 誓一

(信州大学医学部へ)

消化器科医師 竹花 直樹

(東御市民病院へ)

脳神経外科医師 石坂 繁寿

(相澤病院へ)

新任・四月一日付

麻酔科科長 成田 昌広

(信州大学医学部より)

循環器科科長 花岡 健

(信州大学医学部より)

歯科・歯科口腔外科 宮原 貴彦

(信州大学医学部より)

歯科医師 宮原 貴彦

(信州大学医学部より)

麻酔科医師 坂本 明之

(信州大学医学部より)

呼吸器科医師 吾妻 俊彦

(大町総合病院より)

消化器科医師 武田 龍太郎

(国立病院機構松本病院より)

脳神経外科医師 市川 陽三

(信州大学医学部より)

■発行人 長田敦夫
■編集 長野市民病院
■編集委員会 広報誌編集委員会